

支えあい 助けあい 通じあい ともに笑おう



KOBEシニアクラブ

第115号

西区老連だより

編集協力: (株)博報社 大阪市平野区喜連西4-6-69 ☎06-6797-0212

発行
神戸市西区老人クラブ連合会

<事務所>
〒651-2295
神戸市西区糀台5丁目4-1
西区役所 地域協働課内
☎(078) 940-9501
発行人 近藤 豊宣



地域社会の支え手・担い手として

西区老人クラブ連合会

会長 近藤 豊宣

新年明けましておめでとうございませう。皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

平素は神戸市西区老人クラブ連合会の諸事業推進に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、来る2025年には、約800万人いる全ての「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となり、国民の5人に1人が後期高齢者となる時代を迎えます。

超高齢化社会の入り口まで



新年あいさつ

西区長 真嶋 和弘

西区老人クラブ連合会の皆様には新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、スポーツ活動、文化活動、社会奉仕活動など様々な地域活動の運営に取り組んでいただき、感謝いたします。近藤会長を筆頭に、組織の基盤強化として、会員増強活動に取り組んでいただいております。

一か年となりました。

このような状況を考えるとき、私たち仲間が互いに支え合い励まし合いながら楽しみを共にし、長寿の喜びを実感できる人間関係の醸成が極めて大切となります。

そのためには、地域社会の中で自己責任に基づいて「自己力」を高め、地域社会の支え手・担い手として培ってきた能力を生かし、老人としての役割を果たしていく「尊厳ある生き方」が求められます。

私たち老人クラブは超高齢化社会の主人公です。老人会が目指す「健康・友愛・奉仕」を基に、会員一人一人が、健康に留意し、地域の中心となって、支え合う仲間と、若い世代を巻き込んで、生きがいある環境づくりを、積極的に進めていく役割が重要です。

また、玉津庁舎については、現在再整備を進めています。2・3階は既に改修工事を終え、「玉津支所」が1階から移転し、昨年5月より業務を開始しています。1・4階は、玉津地域

一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。会員各位のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

「自己力」を高め、地域社会の支え手・担い手として培ってきた能力を生かし、老人としての役割を果たしていく「尊厳ある生き方」が求められます。

また、玉津庁舎については、現在再整備を進めています。2・3階は既に改修工事を終え、「玉津支所」が1階から移転し、昨年5月より業務を開始しています。1・4階は、玉津地域



発展ならびに会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

末筆ながら、西区老人クラブ連合会のますますのご



西区老連行事予定
1月~3月
2/18(日) 令和5年度リーダー研修大会 (西区文化センター大ホール)
3/上旬 区老連歩こう会(農業公園)

第39回趣味の集い



10月22日(日)、西区文化センター2階なでしこホールにて「第39回趣味の集い」が開催され、総勢51組の出演者がカラオケやコーラス、詩吟、民謡などで舞台を華やかに彩りました。

1階多目的ホールでは作品展が行われ、多くの作品が出展されていました。(関連記事7面)



西区ポッチャ大会



10月6日(金)、神戸市立西体育館で西区ポッチャ大会が開催されました。今回は60チーム、190人が参加され昨年よりもさらに賑やかな大会となりました。コート12面を使用して、5チームによるリーグ戦。上位チームより優勝、準優勝、3位を決定しました。

- ◆優勝チーム(敬称略)
美賀多台クラブC ・室井 正昭 ・笹倉 美生 ・松島美代子
- ◆準優勝チーム(敬称略)
出合長寿会C ・高居 瀧雄 ・末長 則幸 ・梅本 恒行
- ◆3位チーム(敬称略)
宮下シルバークラブB ・榎本 美子 ・近藤 雅子 ・関 宣子

第43回輪投げ大会



第43回輪投げ大会が11月16日(日)に西体育館で開催され、210人の選手が参加しました。今回は、何と夫婦でアベック優勝という嬉しい表彰式が行われました。

ご夫婦で優勝された
蛸谷修・貴志子夫妻

CONGRATS

◆大会結果(敬称略)

〈男性〉

- 優勝 蛸谷 修(押部谷) 75点
- 2位 近藤 正昭(玉津) 74点
- 3位 田中 憲治(押部谷) 68点

〈女性〉

- 優勝 蛸谷貴志子(押部谷) 67点
- 2位 渋谷あさ子(西神NT) 66点
- 3位 岡崎 スミ(岩岡) 64点



第58回グラウンド・ゴルフ大会



10月24日(火)、第58回グラウンド・ゴルフ大会が平野町公園にて開催され、310人の参加者が集まりました。

今大会も8ホール4ラウンドで行われ長時間の大会となりました。皆さん楽しんでプレーしていました。

◆大会結果(敬称略)

- 優勝 山脇 克義(西神南) 68打
- 2位 山下 登俊(西神NT) 69打
- 3位 本村 和義(岩岡) 69打

第70回囲碁将棋大会

11月26日(日)神戸ワイナリーの大会ホールにて、第70回囲碁将棋大会が開催されました。70回の節目の大会であり参加者全員に記念品が贈呈され記念大会を祝いました。本大会は年に2回、定期的で開催されており、35年以上にわたり開催されてきた大会です。今大会は囲碁43名、将棋17名の参加で優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。各クラスの優勝者は次の通りです。(囲碁将棋大会運営委員会委員長 田中 文雄)



囲碁の部上位者



将棋の部上位者

< 囲碁の部 >

- A1クラス 二星 一雄(岩岡老人クラブ)
- A2クラス 福田 邦彦(秋葉台春秋会)
- Bクラス 本庄 定雄(学園シニアクラブ)
- Cクラス 井尻 栄治(狩場台シニアクラブ)
- Dクラス 金沢 幸生(狩場台シニアクラブ)

< 将棋の部 >

- Aクラス 村本 礼治(秋葉台春秋会)
- Bクラス 高橋 進(桜寿会)
- Cクラス 古川 末義(富士クラブ)



第60回秋季ゲートボール大会

令和5年10月4日(水)、第60回秋季ゲートボール大会が、室谷公園グラウンドにて開催されました。

定刻に、西区老連会長、近藤豊宣会長のごあいさつ、ご来賓として西区役所から地域協働課課長 岩瀬好英さまのごあいさつのもとスタートとなりました。

好天の下、9クラブ参加者48名の競技となりました。

栄えある勝者は… 優勝: 太山寺・混成
準優勝: 吹上寿会

おめでとうございます。



参加チーム数は今増えつつあり、次回の大会が期待できます。競技人口が減少するなか、西区老連はゲートボールの競技参加「増」を願って、これからもあらゆる努力を致します。ぜひ、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

(ゲートボール部 水谷 勝)

趣味の人 105

ウクレレ同好会



2023年8月6日「暑気払い」美賀多台地域福祉センターにて

皆さんウクレレと聞いて何が思い浮かびますか？ではなく、そうなんです、私たちの年代は、(ああ驚いた)で馴染みの、あの小さな楽器が奏でる音と、絶妙なネタで楽しませてくれたウクレレ漫談の牧伸二さんなんです。また、ドリフトアーズの高木ブーさんなんかも有名です。

ウクレレの特徴を一言、小さくて軽い、持ち運びが楽、保管場所を取らない、楽器の価格が安いなどがあ

うに楽器を保持できず、指も動かず痛くて弦を押さえることすらできなかったが、今では歌を歌いながらの弾き語りができるようになっていきます。また、初心者の域ですが楽しく和やかにをモットーに講師2人で指導に当たっています。また最近ではブラスも取り入れて、生演奏をバックに目でも楽しんでいただけるようにしています。

練習は基本月2回で地域の集会場を借りて行っています。曲のジャンルは問わず、童謡唱歌・歌謡曲・ハワイアン・演歌など、とにかくできる曲から楽しんでいきます。

今月まで人前で演奏は、西区老連の趣味の集い、老人クラブの誕生会・4年ぶりの敬老の集いと回を重ねるごとに慣れ、楽しめるようになってきています。今後もいろいろな場所演奏ができればいいなと思っています。

最後にこれからも練習を重ね、弾き語り、ソロ演奏、アンサンブル演奏などレベルアップを目指し、皆様に愛される同好会になるよう頑張っていきたいと思っておりますので、ご声援よろしくお願ひします。

(西神第一美賀多台クラブ 室井 正明)

押部谷老人クラブ 秋のバス旅行 鳥取梨狩り体験とレーク大樹での昼食の旅



鳥取県と言えば、伯耆大山、鳥取砂丘、そして二十世紀梨が思い浮かびます。令和5年9月19日(火)押部谷老連会員96名が鳥取の梨狩り体験の旅にバス2台にて午前8時頃出発。天候は例年になく残暑厳しい、蒸し暑い、雲の多い天気でも雨は降りそうでしたが、会員の皆さん元気いっぱい、天気のことはうわの空、心はもう鳥取の梨狩り体験のこと、いっぴいです。行程は加西市の鷲野飛行場跡、鳥取市の湖山温泉

レーク大樹、そして最終目的地は鳥取砂丘近くの湯山の梨園(味加園)です。最初に向かったのは加西市の鷲野飛行場跡で第二次世界大戦が激化し始めた頃、パイロット養成を目的に昭和18年に完成した旧日本海軍の飛行場跡です。敷地内に建てられている展示場には旧日本海軍で活躍した九七式艦上攻撃機と紫電改の実物大の模型等が展示され、当時の戦争の悲惨さを物語っていて参加者一同、二度と戦争を繰り返し



鷲野飛行場跡の展示場

てはならない思いを抱きながら、夏草の生い茂る滑走路跡を後にしました。次に向かったのは鳥取市近郊の湖山池。その湖畔の宿レーク大樹にての昼食会、献立表通りの豪華な日本海で採れた新鮮な魚介類の料理に舌鼓を打ちながら、日々の楽しかったこと、嬉しかったことを話題に和やかに食事に花を咲かせる

この後、賀露漁港のお土産店に立ち寄り、皆さん、それぞれの思いを込めた特産物をカゴ一杯に買い、帰路の途につきました。朝心配していた雨も通り雨程度で天候に恵まれた素晴らしい、和やかな楽しいバス旅行で、何よりも事故もなく、全員無事帰ることができたことを感謝している次第です。



梨狩り

会員の皆さん、大変お疲れさまでした。(月が丘むつみ会 会長 渡邊 明義)



押部谷老連主催
第57回 グラウンド・ゴルフ大会
令和5年11月7日(火)開催

GG部長
宮川 公
(押部谷老連)
加をお待ち致します。

昨日まで危ぶまれた天候が回復し、11月7日(火)は、陽射しの中で、第57回押部谷老連グラウンドゴルフ大会を、三木防災公園のグラウンドゴルフ場で開催致しました。

今回は、10地区クラブより、17チーム100名の参加者があり、盛大に行うことができました。

昨今の老人クラブは、若い人の入会が少なく、年ごとに高齢化が進む中にもかかわらず、100名の参加者を得たことは嬉しい限りです。現在、回を重ねて57回となりましたが、大きな節目の60回大会は、記念大会として何か違ったアイデアを取り入れ開催したいものだと考えています。楽しみにお待ち下さい。

さて、本大会の結果をお知らせします。指定ホールのホールインワン賞は、小池諭(悠々会)さん唯一人でした。上位入賞者は、

優勝 佐藤 昌士(春秋会) スコア52
準優勝 藤本 孝仁(高寿会) スコア58
3位 川田 修(春秋会) スコア59

の各位です。おめでとうございませう。

第56回の結果をかえりみますと、優勝・47、準優勝・54、3位・55と記録が残っています。今回は、雨上りの芝で、難しくスコアが伸びなかったのかもしれない。

次回、58回には、さらに研鑽を積まれて、上記記録を上回る成績を目指し入賞を狙って下さい。向寒の砌、各位お身体ご自愛の上、ご健勝にお過ごし下さい。次大会にもご参加をお待ち致します。

西神美春クラブ
中国語(汉语)を趣味として
その9

●4の1「漢文の本質」
先回までは漢字の起源から始まって、漢字の音と訓にまでたどり着いた。ご承知の通り、中国は世界でも最も早く文化の発達した国である。ギリシャで最古の叙事詩『イリアス』や『オデュッセイア』が作られている頃、中国では最古の詩集『詩経』ができていた。論語の中心人物である孔子は、インドの釈迦と同時代の人で、ソクラテスやプラトンより1世紀前、キリストよりは5世紀も前の思想家である。世界的に著名な詩人李白や杜甫の時代は日本の『万葉集』時代にあたる。このように、世界に類なき急速で結実した中国文化だが、その文化の工ッセンスのほとんどすべてが、共通記号語たる漢文で書き残されているのである。そして、2500年前からの思想や文学にじかに接することができるというのは、また驚くべきことでもある。

さて、日本にはもともと文字がなかった。中国から伝来した漢字こそ、日本人が文字を知った最初でもあった。漢字を通して中国の文化や思想を知り、制度や器物など外形的なものから思想、発想といった精神的

内面的なものまですべて、漢字を媒介として摂取し発展させてきた。奈良、平安時代はむろんのこと、現代でも、漢文に対する素養の深さがその人の教養の程度を示すものとみられるほどである。漢文の理解は世界的文化遺産として、中国の原文に触れていくことだけでなく、日本文化の源流として、その発展のあとを知ることができるという喜びがある。同時にまた西歐文化とは違った東洋文化の本質にも迫っていくことになる。

●4の2「漢文の意味」
①漢民族が漢字のみを用いて書いた、文語体・書き言葉による、詩や文章。
②日本人が①の規則に従って書いた漢詩や漢文。
③以上の①、②を漢字と、仮名を交えて普通の日本文形式に書き直したもの。

簡単に言えば、漢文とは以上のような意味になる。以下 次号に続く。
(美賀多台広報 寺田)



杜甫



李白

先師孔子行教像



孔子

当クラブは、令和元年まで、毎年10月初めに一泊の親睦旅行を実施してきました。行先は、片道250km前後が上限で、途中の散歩時間もある程度制限をしながらの計画でした。

令和2年の新型コロナウイルス感染症により、楽しみにしていた一泊旅行も断念せざるを得なくなりましたが、今年5月のマスク解放により、6月初旬より一泊旅行計画を始めました。

執行部がわからなかったのは、コロナウイルスの影響による旅行業界の異変でした。バス会社は減車・減



岩岡老人クラブ

4年振りの一泊旅行

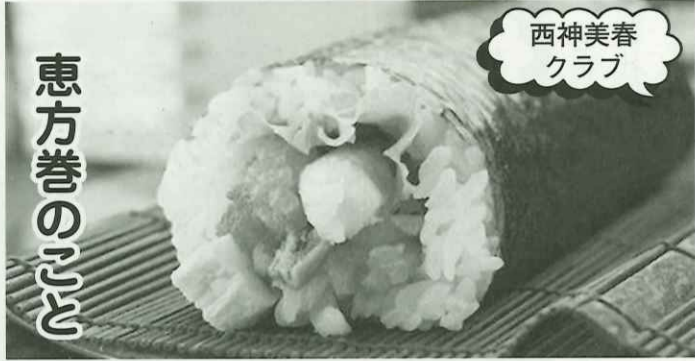
員、ホテル・旅館は燃料費の高騰、食材・人件費の高騰により従前の一泊費用の15〜20%の値上りでした。まずは旅行日のバスの確保が最優先と実感しました。

10月2日(月)午前7時半より各地より乗車してもらい、中国道米子道を走り、由志園で庭園見学、昼食。次は美保神社に参拝、皆生温泉には16時過ぎに着。入浴後は宴会開始で、久しぶりのカラオケに出演者続出で最高の盛り上がりとなりました。

10月3日(火)は、お菓子の寿城、倉吉・二十世紀ナシ記念館を訪れ、鳥取砂丘セントアーで昼食。早朝から土産をいっぱい買い、3種類のナシの試食をしました。最高級のナシは1個600円を超える逸品でした。夕刻5時には地元は無事帰り、よかったよかったの旅行でした。

(岩岡老人クラブ 広報 磯上)

西神美春クラブ



恵方巻のごと

新年あけましておめでとごいそいそです。今年(令和6年)の恵方は、東北東です。恵方とは、その年の歳徳神様のいらっしゃる方をいいます。

歳徳神様は、「年神様」「正月様」等ともいわれ、その年の福、徳いよゆる幸福や、金運などを司る神様のこととす。これに饗応する行事として、新年の「西区老連だより4月号」を飾る「恵方三社参り」行事。春日クラブ会長の頃、7年間組立てに携わり、組み立てた左義長がその年の恵方に向かって倒れると縁起が良いと長老から教わっており、毎年恵方の方向に倒れることを密かに祈った。ふれあいのまちづくり協議会主催の「左義長」行事。さらには、

「節分の恵方巻き」と恵方が絡む行事が続きます。

今回は、これら行事の中から、鬼の金棒を食することで「邪気を払う」という意味から、海苔巻きを金棒に見立てて、巻き寿司を食べる習わしが始まった。この起源は、関西で始まったことをご存知でしたか? 一説では、明治の後期大阪此花の花街からとも云われておりますが、昭和の初めより大阪に住む義兄から聞いた話では、明治後期(明治35年頃)日清戦争後の日本では、戦勝ブームに沸いていた一方で、株価暴落を引き起こし、倒産する企業が続出して資本主義恐慌に陥ったとか。こちらの方が何か説得力があるように思われますので、ここでは、そちらの話をご披露することと致します。

明治の後期、尼崎大物の老舗海苔問屋が海苔の販売が振るわず、店の丁稚から大番頭まで全員を集め、何とかこの不況を乗り切るアイデアは無いものかと尋ねたところ、何と丁稚の一人が『親方はん、関西のお方はんは、みんな揃って、巻き寿司がだい好きやさかい』と考え付いたのが前述のアイデアであったとか。

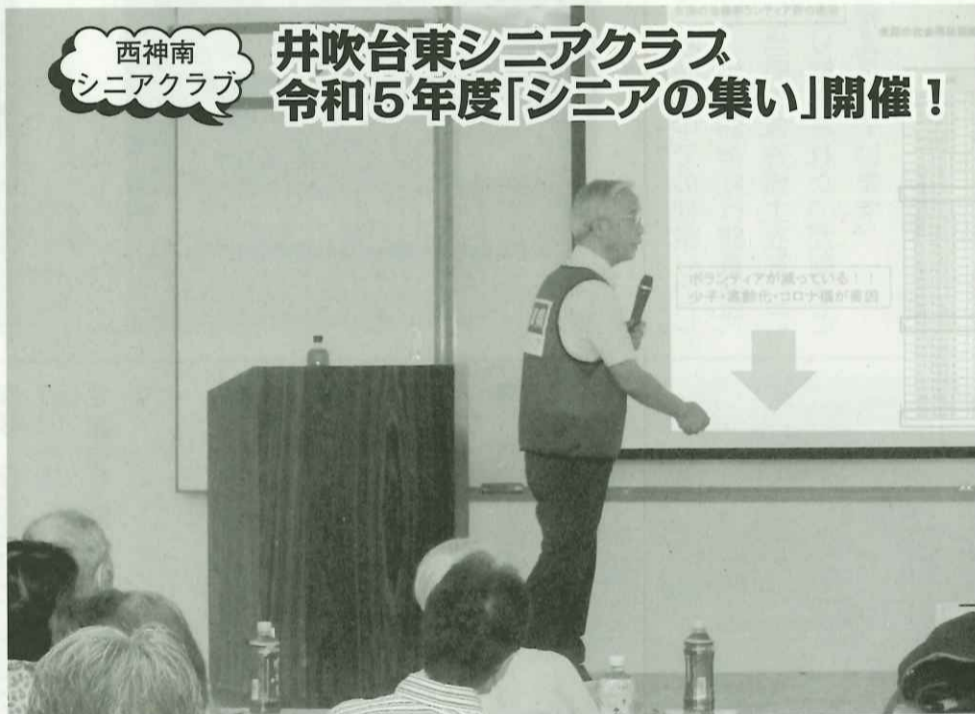
その後、関西では節分に、その年の恵方に向かつて、一人一本の巻き寿司を黙して語らず食する(厄を払う)風習が定着して、老舗の海苔問屋も倒産することなく、大繁盛を見たとか。山善の社長(丁稚時代)をモデルにした「どてら男」の物語りは、

会員の皆さまもよく御存知かと思いますが、この物語よりも半世紀以上も前のお話だけに、心打たれます。私たちは上手く商法に乗せられたのですが、海苔問屋の一助になったのなら良しとしましょう。まだまだ目新しい風習であり、東北方面(一部を除く)には、まだ届いていないようなのですが近年は、コンビニが取り扱う様になり、最後になった北海道を含め浸透しつつあるとの話、この風習が全国ベースになるのは、そう遠くないこととしょう。

木口 文敏 (西神第1春日クラブ)



井吹台東シニアクラス 令和5年度「シニアの集い」開催!



西神南シニアクラブ

今年の敬老の日の翌9月19日(火)、西神南のセリオホールで恒例の「シニアの集い」が会員48名の参加で開催されました。

村田会長のあいさつのあと講演に入りました。第1部は前兵庫ボランティアプラザ所長で、現在全国災害ボランティア支援機構代表理事の高橋守雄氏が「日常生活と防災について」と題して、西区のハザードマップを使った水害への警戒を呼びかけて、災害ボランティアの現状を熱く語ってくれました。

大震災」はボランティア元年と言われ、神戸は多くの方々の支援を受けました。現在の全国のボランティア数は2011年東日本大震災をピークに、少子高齢化、コロナ禍等で減少しているということ。今後は「支援する人を支援する社会の醸成」が募金活動と合わせて大切な活動であると説かれました。「ハードな支援からハートの支援へ!」(ちなみに、高橋氏は当クラブの会員です)引き続き第2部は神戸まなびすとネット市民講師



の扶川郁美氏が「脳トレ健康体操」をテーマに、ユーモアなしゃべりで健康に良い体操をいろいろ披露してくれました。血流をよくするために「鼻で大きく息を吸って、丹田(臍の下の部分)で息を止め、口をすぼめて息を吐き切る」体操を繰り返して行

返して行うことが効果があることや、「パタカラ」を繰り返す口の運動、早口言葉、指の体操等、笑いありの面白い講義で少し元気をもらいました。ボケるのはまだまだ、これから「老いドン!」で健康なシニア人生を目指そうとのことで散会となりました。

(広報 平間)

令和5年10月1日(日)、諏訪神社にて秋季例祭が営まれました。10時に各地区の

11時より例祭斎行、斎行後神楽舞が拝殿で行われ

13時30分より、神幸式が始まり、天狗を先頭に行列を従えて神輿の御旅所巡行



子ども神輿5台が次々と宮入りをして来ました。少しづつ飾りが違って大変カラフルでした。10時30分、太鼓(屋台)の宮入り、力強い音と声が響き、拝殿前で高々と屋台を差し上げると周囲より拍手が送られて



ました。4人の巫女の舞は美しく見事でした。午後より子ども神輿の練り回し、子ども相撲と大にぎわいでした。秋晴の中での秋祭りでした。当諏訪神社は鎌倉時代に当時の櫓城主衣笠公により勧請されたのが創建と伝えられています。(広報 三譚)

令和5年8月26日(日)、第30回櫓谷川まつりが栃木地区河川敷で開催されました。雨とコロナでの中止が続き、

クラウン、楽遊クラブの銭太鼓、消防団によるポンプ放水、お楽しみ抽選会など楽しいイベントがいっぱい



でした。かき氷、たこ焼き、ソフトクリームなどお店は19店で子どもたちで大賑わいでした。ちなみに私たちが櫓谷長寿会は竹トンボ、恐竜タマゴウォッチ、ちえの輪の無料配布を行い、全品配布完了しました。川では子どもたちがはし



5年ぶりの川まつりです。14時、栃木東地区の児童の開会宣言に続き、櫓谷川愛護協議会後藤茂会長より開会のあいさつがあり、開会しました。櫓谷中学校のプラスバンド演奏、つぐみ保育園児のダンス、かがやき神戸の愉快な

やぎ回り、メダカなどたくさんのお魚をバケツに入れていました。16時30分、愛護協議会藤井清己副会長より閉会のあいさつがあり、川まつりを終了しました。猛暑の中での川まつりでしたが、楽しく無事に終了しました。(広報 三譚)



SOMPOケアヴィーレ神戸伊川谷では、近隣の学校、保育園など、地域交流の一環として、毎月子ども食堂を開催しております。「SOMPOケアがなぜ子ども食堂をやるのか」●ご利用者様の活力(気力・身体機能)向上●地域との連携強化・「孤立」などの課題解決●介護のお仕事体験(介護をあのがれの職業に)

子ども食堂は、SOMPOケアヴィーレ神戸伊川谷でも毎月開催させています。2012年に民間からはじまった子ども食堂は、全国で7000カ所で開催されるまでに広がっており、これからSOMPOケアの全国的な事業所で展開することで450カ所が当社での運営となり、約1割がSOMPO流の子ども食堂になっていきます。これを毎月実施していくわけですが、450事業所に毎月10名のお子さまをお迎えし、毎年5万4000人の子どもの交流ができ、子どもたちは介護の魅力にも触れます。これから始まるSOMPO流の子ども食堂は大きな挑戦になります。

SOMPO ケア ヴィーレ神戸伊川谷 ~地域交流 子ども食堂の取り組み~



2012年に民間からはじまった子ども食堂は、全国で7000カ所で開催されるまでに広がっており、これからSOMPOケアの全国的な事業所で展開することで450カ所が当社での運営となり、約1割がSOMPO流の子ども食堂になっていきます。



ただいであり、ご入居されているお客様と一緒にアクトビティを楽しんだり、SOMPOケアでご提供させていただいているお食事を召し上がっていただいております。毎月10名程度のご参加となっておりますが、10月には近隣のべんてん保育園の園児さんたち総勢19名に来ていただきました。ご提供させていただいているメニューは、みんな大好き! SOMPOカレーやハンバーグなど!! アクティビティも、すな絵、はり絵などの工作やオンデマンド動画を使用した、お子さまたちが皆で楽しめる体操や運動などを、ご準備させていただいております。最後は来て下さった感謝も込めてお土産をお渡し!! SOMPOケアヴィーレ神戸伊川谷の子ども食堂、ご参加ご希望の方はお問い合わせ下さい。合わせて随時、ご見学も受付中です。皆さまのお問い合わせ、お待ちしております。

われら生き生きクラブ

朝日が丘むつみ会

楽しく 元気に カラオケを!



わが町朝日が丘は一歩踏めば三木市との境にあり朝日が丘むつみ会として昭和50年発足、48年になります。カラオケ同好会も発足30年以上、増減はありますが現在13名の会員が自治会館にて毎週月曜日13時〜16時、1カ月2曲の新曲を練習しております。

わが町朝日が丘は一歩踏めば三木市との境にあり朝日が丘むつみ会として昭和50年発足、48年になります。カラオケ同好会も発足30年以上、増減はありますが現在13名の会員が自治会館にて毎週月曜日13時〜16時、1カ月2曲の新曲を練習しております。

「ウグイス唄う会」と命名し、7月は納涼会、12月



玉津寿楽会

「ふれあい」まつりに参加して

コーナー(豚汁、おにぎり)、1000円コーナーコーナーも用意されて、朝10時のオープンから大勢の人で賑わっていました。中庭のバザーも多くの商品が安く販売され、両手にかかえてのレジ待ちでした。

出合地域福祉センターで、西区出合ふれあいのまちづくり協議会主催によるまつりに参加しての思いにペンを取りました。

10月29日(日)天気恵まれ、朝から準備を行い、中庭ではバザーコーナー、一階の外では焼鳥、フランクフルト、コーン焼等と子ども用のスマートフォンすくい、お菓子つり等が用意され、屋内ではカンバッシ、トルペイント、二階では飲食

てました。全員の片付けを行い、反省会も行い解散しました。関係者の皆さま、ご苦労さまでした。私は老人会代表での参加でしたので、他の会員の方々が大勢来てくださったありがとうございました。

出合地域福祉センターで、西区出合ふれあいのまちづくり協議会主催によるまつりに参加しての思いにペンを取りました。

趣味の集いを考える

伊川谷杏寿会

第39回趣味の集いが10月22日開催され、例年に劣らぬ盛況であった。作品の部(展示会)もクラブ数、会員数の減少にもかかわらず、昨年並みの出品があった。

今年の出品の特徴は、(1) 優秀な作品が多かったこと。中には4500のパーツを繋ぎ合わせたパッチワークの大作、印象派ミレーの作品を思わせる絵画など目を引く作品があり、近藤会長も「市老連の展示会に出したい作品が数点ある」とも。

(2) グループ出品が多かったこと。これは地域での趣味の活動の広がりや意味、高齢者活動の広がりを期待させるものである。

趣味の活動時に物作りは高齢者の脳活や末端神経の劣化を防止する効果はすでに知られるところであり、レイル防止に誰でも取組める活動というべきである。

今回の作品展で考えさせられた計画性の欠如と出席者との協調性不足。来年は40回記念の年である。作品活動の広がり、西区の高齢者が参加意欲の湧く積極的な運営が求められるところと考える次第である。

(作品の部 桃尾 行男)

会

員

文

芸

◆俳句

◎きらく句会

千し柿の並ぶテラスに夕日さす

阪本 道子

千し柿をもむ指先の隠しごと

田野 育利

佇めば人も寄り来る吾亦紅

森本 珠実

豊の秋金色の風渡りくる

大橋 治子

金木犀白杖の足止めさせる

喜田 弘征

星隠れ間流れ来て鍋仕度

尾上 正紀

◎個人

葉の陰やミカン色染む荔枝かな

靴裏の奏でる音色木の實道

蔓物や宙を泳ぎて秋を告ぐ

木の実道気付くば両掌土の上

放棄畑一色染むる泡立草

寺岡 洋子

◆短歌

◎櫻の木会短歌会

水仙の庭に芽生えて思い出づ

娘と行きし淡路水仙郷

尾崎 陽子

八十歳半ばグラウンドゴルフの休憩に

ゆったりベンチ初冬の日差し

重本嘉代子

◆川柳

◎個人

葉身の周り修理繕い我が日課

花盗る人植える人いる道ドラマ

落ち込む度脳のぜんまい巻き戻す

加齢とは埋もれし記憶掘り上げ

失恋も夢の中にて成就する

寺岡 洋子



ぶらり散歩で西区を紹介

郷土の名所めぐり

その24

プレんティ西神中央
リニューアル



ています。

西神のまちびらきは、1989(平成元)年11月24日に「プレんティ」がオープンしたのを皮切りに、1990年10月に「西神そごう」、1993年6月には「西神オリエンタルホテル」が開業し西神中央駅周辺の商業施設が出そろいました。早いものでプレんティが開店してから33年の歳月が過ぎ去っ

ています。神戸市が取り組む再開発プロジェクト「リノベーション神戸」のひとつとして、本年5月から本格的な改修工事に入り去る10月19日に新装開店の運びになりました。西神中央活性化プランの一環としてプレんティ専門店一番館「屋外アトリウムコート」、一階屋内のセンターコートの整備、一階には「フードコート」(11)は、450席あり我々高齢者にとっては着席機会が増えて嬉しい限りです。また、木目基調で間接照明の店内と、目新しい店舗になっています。三階には、「キッズ&ファミリー」のフロア「」が新設され、また屋上にはアウトドアイベントな



どに活用できる「スカイパーク」、デジタルコンテンツを導入した「キッズスペース」の設置がされ、人工芝を張った、子どもが走り回る事ができる広場、遊具が設置され「子育て世代を考慮した施設」になっています。専門店一番館は、プレん



原稿募集

皆さまの文芸作品や随筆を「西区老連だより」にお寄せください。600字までの原稿をお願いします。また原稿の採用、内容の一部修正等についてはご一任願います。

【投稿先】所属協議会の担当広報部員へ
または〒651-2295 神戸市西区糀台5丁目4-1
西区役所地域協働課 西区老連事務局まで

ティ広場に面しており、開放感のある店舗配置と空間の活用が計画されています。また一時預かり保育所のオープン、ワーキングスペース(共有オフィス)も設置。皆さまも新しくなった西神中央へ足を運ばれてはいかがでしょうか。
本稿を執筆した私も、西神のまちびらきと同時期の1990(平成2)年5月に千葉県の船橋市より転居してまいりました。
(糀台なでしこクラブ
会長 平岡 豊久

洗筆余話

コロナで変わったバス旅行

老人クラブ活動の中で、西区老連主催・各連合シニアクラブ主催・各単位シニアクラブ主催で、一泊二日・日帰りのバス旅行を実施されています。訪問地は片道300kmを超える高知方面・金沢方面は、乗車時間が長く、企画者が悩まれる地域かと思えます。

令和2年に始まった新型コロナウイルス感染症の影響で旅行の予算も15~20%増加したと考えています。その要因として、①バス会社

社の減車・減員による車両確保の困難化、②ホテル等の減員、ボイラー代の増加、③令和5年に入り、食材の高騰による宿泊費の高騰は避けることのできない現実として受け止めています。例えば令和元年までの日帰りバス旅行の予算は7~8000円でしたが、最近では1万円を超えない9800円~95000円の料金設定が基本であると認識しています。当クラブは令和5年10月初めに、皆生温泉への一泊旅行を実施、参加費は一人当たり2万6000円となりました。2~3の旅行会社に聞きますと、一番難しいのはバス車両の確保だそうです。従前は3カ月前でもできたものが、最近では4~5カ月前よりの申し込みにより、自分の好きな所へ行けるようです。世の中の変化のスピードは増しており、早め早めの企画で楽しいバス旅行ができますよう、幹事さまご苦労さまです

(A)

押部谷女性部

干支作り

辰



日々いきいきと楽しく過ごしましょう

11月6日(月)女性部は、押部谷地域福祉センターに22人が参加して干支「竜」作りをしました。ちりめん布の使用で、顔(直線と曲線部分の布を縫い合わせるのにズレないように注意する)・胴体・尻尾などに綿を入れ、それぞれ縫い付けると立体感のある竜に仕上がりました。午前9時から始め、途中、休憩も入れ正午過ぎに全員ができあがり笑顔になりました。梅の花は、持ち帰り各自で作ることになりました。

(広報 財田)

